

たかはぎし 議会だより

No. 107

2010年 2月5日 発行

発行 高萩市議会

発行責任者 議長 篠原新一郎

編集 高萩市議会だより

編集特別委員会

〒318-8511 茨城県高萩市本町1-100-1

電話(0293)23-5373



(シリーズ中学校)

秋山中学校

主 な 内 容

市政に対する一般質問……………	2
議案に対する質疑……………	6
討論……………	8
議案等審議結果……………	11

去る12月4日から17日までの14日間の日程で、第4回定例会が開かれ、市長から条例の制定及び一部改正、補正予算ほか提案され審議しました。また議会最終日に市長から補正予算1件及び議員から決議案2件、意見書案1件が追加提案され審議しました。

平成21年第4回定例会

去る11月24日、第5回臨時会が開かれ、市長から条例の制定1件が提案され審議しました。

平成21年第5回臨時会

去る11月12日、第4回臨時会が開かれ、市長から補正予算4件が提案され審議しました。

平成21年第4回臨時会

作山里美 議員

ごみ処理について

質問 当市の重要政策であるごみ処理について、市長は先の全員協議会で広域処理組織を確立するのが最も好ましい。広域処理ができるまでの間民間企業へ5年間保証委託で議会の議決を得たいと発言されましたが、広域処理について市長は今後どう進めていくのか具体的に伺いたい。一方委託について重要な政策変更があるようだが、現在の委託先である日立市と何があったのか経過を具体的に説明願いたい。

市長 基本的に広域処理の確立が重要と考えていることに論を待たない。委託について今まで日立市へお世話になっていたが、民間業者と比べると処理経費が年間で1290万円高い。高萩市は昨年度より行財政健全化計画を進めている中、処理経費が高いことは市民に説明できない。

質問 ごみ処理事業は1日たりとも欠かすことのできない事業である。従って特に留意しなければならないことはいかに永続的に安全安心を保つかである。以前当市のごみを栃木県鹿沼市のサンエコーという民間業者へ入札により委託したことがあるが、6か月間委託しただけでまた日立市へと戻した経過がある。この時市長は、ごみの委託先は多少経費が

高くとも安全安心の保てる行政（日立市）へ委託することが最も正しいとの見解を示した。私も市長の考え方には同感していた。しかし今日いかに行財政健全化計画を進めているさ中と言えど市長の政策変更があまりにも極端なのに驚いている。日立市との間に、民間業者との間に一体何があったのか理解に苦しむ。それから今日まで約7年間日立市へお世話になっていたごみ処理委託を市長は昨日日立市へ断ってきたと聞いているが、議会へ一言の相談もなく行った行為は議会無視もはなはだしいのではないか。この案件については議会の議決が必要なのに市長は何と考えているのか。一方日立市は一方的な草間市長のやり方に非常に憤慨しているし、高萩市が断ってきたのは執行部、議会が意見を一つにしたものだと曲解している。私は困ったことになったと思っている。私の考え方はまず自前の広域処理に一日も早く取組むこと。その間の処理委託は危険で不安のつきまとう民間業者よりも安全安心な日立市への委託を継続すべきと考える。市長は考え直す気持ちはないのか。

市長 執行権の範囲で行っていることなのでご理解いただきたい。

質問 本議会中に全員協議会を開いて具体的経過の説明と再検討を強く要望する。

市長 議長とも協議して検討します。

平 正三 議員

ごみ処理問題について

質問 北茨城市との広域化は、過去に断っている。今度は処理費が高いと言って日立市への委託を断った。こうした状況での広域化方針は、全く見通しのない方針である。5年間にわたる民間委託は、いつ倒産するかわからず不安定であり、やるべきではない。今まで市長は、民間が安くて、市民生活の安定・安全から行政が責任を持つべきと自前の処理施設を造らなければならないと主張してきた。それが、民間の方が処理経費が安いといって日立市の委託を断ることは180度の政策転換であり理解できない。また、プラスチック類の分別を不燃物から可燃物に変えた理由は何か。

市長 近隣自治体と丁寧に進めていく考えである。

市民生活部長 埋め立て処分より熱回収に変更すべきと判断した。

質問 独自の可燃ごみ処理施設建設を放棄したことがごみ問題の混迷である。ごみ問題を解決するには、独自のごみ処理施設建設の原点に戻るべきである。また、プラスチック類を可燃ごみ扱いへの変更は、ごみの量を多くすることや助燃剤としての活用など民間業者の利益を図ったのではないかと疑問を持つ。リサイクル

ルセンターができることから、今までどおりの分別・収集すべきである。
市民生活部長 プラスチックの分別・収集再開に向け努力していきたい。

市道207号線、駒木原十文字から南側方面の交通安全対策について

質問 この区間の道路は非常に狭隘で、交通安全上、非常に危険で、その対策として道路の側溝に蓋をかけることを求めてきた。これまでの取り組みと今後の対策を伺いたい。
建設経済部長 昨年度より事業を実施しており、本年度と来年度で完了する計画である。



その他の質問事項

○赤浜地区工業団地（TK-2）について

○旧日本加工製紙アパート問題等について

寺岡七郎 議員

市制施行55周年

記念行事について

質問 市制55周年記念行事が行われ、それぞれの関係者の大変な努力によって大きな成果を上げたと思います。しかしながら、市制55周年にはどうしても招待しなければならない前岩倉市長を招待から外すという、いくら考えても私には理解できない。あの意味においては対決の相手かも知れませんが、しかし記念行事は別問題である。

市長 大変申し訳なく思っております。事務的なミスであります。

質問 前市長を招待から外したのは手違いであるという答弁は予測していたが、知っているとおり前市長は1人しかいない。55周年の歴史の中で生存者は1人。それを忘れました。通る話ではない。呼びたくない気持ちにはわかるが、しかし呼ばなければならぬ人である。

人事評価制度について

質問 評価する人と評価される人は一定の信頼関係がなければ成り立たない。人事評価は評価することが目的ではなく、人を育てることを目的としている。しかし、マニュアルでは、評価には人間関係は考慮しない、嫌われるのもリーダーの運命である。

しかも信賞必罰を貫くといっているが、これでは人が育てにくいのではないか。

市長 一番目は人材育成であります。その中に専門性の育成などが出てきます。今、研修制度で身につけていただいております。

二番目は組織の活性化であります。すなわち人を入れ替えることによって新たな視点を入れてもらう。あるいは新たなキャリアを積んでもらう。そして組織を活性化する。

三番目はそういったものの経験を踏まえ、その上で適材適所というのが出てくると思います。

総務部長 一つとして職員の研修等により職員能力の向上を目指してございます。これからの自治体職員に求められる政策形成能力や政策法務能力、市民との協働能力等を研修で高め、その能力をグループ制で最大限に発揮できるよう適材適所に配置し、組織全体の総合力が向上するよう、そして組織の活性化にもつながるように取組んでまいります。

二つ目として、民間と競合する業務につきましては、民間委託を実施してまいります。

三つ目として、嘱託職員や臨時職員を有効に配置、活用し、市民サービスの低下や職員の事務量の過度な増加につながらないように努めてまいります。

中井信行 議員

国民健康保険について

質問 当市の国民健康保険の滞納率は26・1%、県内で6番目の高さです。19年度、20年度と約2億7千万円不納欠損をしても4世帯に1世帯以上と異常と言えます。この様な中、前年度この保険料を約15%上げましたが、ますます滞納世帯が増加しなにか心配されます。この保険制度そのものが現行のままでは維持できなくなっていて、根本的な解決が望まれます。軽減措置も十分でなく、これ以上市民に負担をかけられません。

市長 は、国の負担を元の金額に戻しと言わなければいけません。そして市の一般会計からの繰出金を元に戻して、市民の負担を減らしてください。

市民生活部長 この保険は低所得者の占める割合が高い傾向にあり、今の社会状況の中で増加しています。市民の負担増を軽減するため低所得者世帯へ対応をしているところです。

観光行政について

質問 紅葉の期間行われたカーボンオフセット駐車場の成果は。また、同じく行われた、紅葉名所バスめぐり事業はどうでしたか。紅葉の期間10万人を超える観光客を呼んだことは大きなことでした。

このほど市が参加して、世界ジオパーク認定に向けて取り組みを表明しましたが、具体的に何を指すものですか。

建設経済部長 県内で初めてこの制度を導入しました。駐車料金の一部、123万円5千円程を環境整備協力金として自然エネルギー発電に支払う予定です。また、パイロット事業として行われた、紅葉名所バスめぐりは、期間中9日間、上下合わせて1日9本、延べ81本、県北の常磐線と水郡線を結ぶルートで行われました。乗車率は約40%でした。

市長 県北ジオパーク構想は茨城大学が調整を進めています。地質学的重要性だけでなく、考古学的、生態学的、文化的価値を認定されることにより、地域の持続的な経済振興を目指すものです。普段の市のイメージとまた違う資源があると指摘されていまして、今後主体的にかかわっていきます。

消費生活センターについて

質問 この程センターが設置されましたが、現在までの様な相談が寄せられましたか。複雑な問題のケースの対応はどうしますか。

建設経済部長 相談者2名で週3日実施しております。この1か月での相談件数は6件でした。複雑な問題では県消費生活センター、弁護士等と対応します。

今川敏宏 議員

1. 第4次高萩市総合計画について
2. 行財政健全化計画について
3. 平成22年度予算編成について

私の今回の質問のテーマは「高萩市のこれからに希望をつくりたい」というものです。そこで東京大学社会科学研究所教授 橋川武郎氏の「偽物の希望」と「本物の希望」と題するコラム記事を抜粋します。以下コラム記事です。

『一つの話が脳裏をよぎる。世界大恐慌の荒波にさらされたドイツでは、1933年3月に失業者数が560万人に達した。しかし、その年の1月に首相に就任したある人物が、アウトバーン建設と国民車普及に象徴される経済政策を展開した結果、わずか数年で失業者数は50万人を割り込む水準にまで激減した。ドイツ国民はこの出来事を、その首相の名前にちなんで「○○の奇跡」と呼んで称賛した。問題は、その○○にはいる名前がアドルフ・ヒトラーだったことにある。失業克服で人気を得たヒトラーが、その後ドイツを軍備増強、ユダヤ人迫害、第2次世界大戦の開始と敗北へ導いたことはよく知られている。それは、ドイツ国民にとって破滅へつながる道であった。ヒトラーがドイツ国民に与えた希望は「偽物の希望」であった。絶望が深いときほど「偽物の希望」が

横行することを、この故事は教えている。希望学の使命の一つは「偽物の希望」の横行をチェックすることにある。そのためにはまず「偽物の希望」と「本物の希望」とを峻別することが必要になる。「偽物の希望」と峻別される「本物の希望」の要件は何か。その答えは、(1)目的の正しさと、(2)手段の適切さ、の2点に求めることができる。(1)は「偽物」にかかわる問題であり、(2)は「本物」にかかわる問題である。「偽物」の説得力と「本物」の説得力の両方を欠いては、「偽物の希望」といっても成立することは困難であろう。大半の「偽物の希望」は「偽物」の正しさか、「本物」の適切さかの、いずれかを有している（厳密に言えばいずれかしき有していない）。誤解をおそれずに言えば、ヒトラーがドイツ国民に「偽物の希望」を与えたのは、失業問題の克服やドイツの復興という彼が掲げた目的が、ドイツ国民に対して説得力をもったからである。しかし、ヒトラーが採用した手段には、非人道的で邪悪なものが数多く含まれていた。「偽物」の説得力が「本物」での不適切さを覆い隠し、ドイツ国民は、ヒトラーの「偽物の希望」の罠にはまったのである。』

今回私が取り上げた総合計画も健全化計画も来年度予算も、市民にとって本物の希望でなければなりません。感想等ありますか？

菊地正芳 議員

元気な高齢者への支援策について

本市の65歳以上の高齢者は平成20年現在では、7899人、その内要介護、要支援認定を受けていない、いわゆる元気高齢者は、86%の約6800人です。

この様に、介護サービスを利用していない元気高齢者の健康維持や、生きがい造りに有効な支援策を講じていく事は、目前の超高齢社会への対応として、極めて重要である。

例えば、東京都杉並区では、「長寿応援ポイント事業」を実施しています。区が認定した活動に高齢者が団体で参加すると、区内共通商品券と交換できる、ポイントシールがもらえる仕組みです。

具体的には、事業の対象となるのは60歳以上の杉並区民。5人以上の団体で区に活動登録をし、清掃や安全パトロールなどの地域貢献活動を1時間以上行う事で5ポイント（1ポイント＝50円相当）のシールがもらえます。

また、75歳以上の区民が参加している団体は、ゲートボールやカラオケなどの『いきがい活動』を1時間以上行う事で1ポイントとなります。この事業の活動登録は8月の募集開始から10月までに約700件で1万人を超える高齢者が参加しています。この様に、より多くの高齢者

の皆様が社会参画を通して生きがいを持って活躍できるよう、高萩市ならではの仕組みを、仮称ではあります『生涯現役日本一応援ポイント制度』というものを創設してはどうか提案致します。

高齢者・障がい者の見守りについて

徘徊癖のある高齢者・障がい者にとって長時間の徘徊は、脱水症状、飢え、側溝に落ちたり、冬場は凍死するケースが多く命にもかかわります。早期発見の為に、地域で見守ろうという事がとても大事であります。

これを踏まえ、位置確認探索システムについて伺います。このシステムは、徘徊者の位置の確認が出来、またインターネットを利用して、家族が自分で位置情報を検索出来る様になっています。位置探索システム導入と利用者に対しては助成制度を設けるべきである、それから知的障害者に対しても実施すべきと考えるが見解を伺う。

更なる『見守り』の強化と言う事で現在、高萩市で行われている不審者情報のサーバーを活用して携帯やパソコンのメールを利用したネットワークで居場所を探す『発見支援メール事業』を行ってはどうか。

こうした「地域のネットワーク」と「位置確認探索システム」の併用をすれば、徘徊する方の早期発見に効果が上がると思われるが見解を伺う。

吉川道隆 議員

公立幼稚園の三年保育について

質問 昨年、陳情として「延長保育」と「三年保育」の実施が出され、採択され、延長保育は本年度より実施されているが、三年保育については実施される様子はない。どのように検討されているのか？

私立のキリスト幼稚園が来年度から三歳児の募集をせずに、今の在園児が卒園したら閉園するので高萩市では三年保育の幼稚園はゼロになる。市外の私立に多く流れているので、公立幼稚園は入園児がかなり少なくなり、このままでは、統合、廃園に追い込まれる。公立離れを防ぐため三年保育を早急に考えてはどうか？

教育長 平成22年度から、まずは一園、実施に向け、進める。

質問 私立幼稚園に出している多額の補助金、キリスト幼稚園が高萩市からなくなったときには、市外の私立幼稚園のためだけに補助金を払うようなもので検討すべき。私立に対する補助金は市町村の任意でいいのだから、その分を公立幼稚園や放課後子どもプランのためにまわせば？

教育長 就園奨励費は市内に私立幼稚園のない常陸太田市や鉾田市では実施していないので、現在見直す方向で検討している。

質問 延長、預かり保育をしている

茨城県内の公立幼稚園の3分の2は、当園職員以外に、特別に雇い入れた職員がいる。高萩市では、現場の先生だけがみていて延長保育のための雇用はない。次年度はどうなるのか？

教育長 延長保育を実施後、意見を聴取して、他市町村の状況を調査していく予定。

放課後子ども教室について

質問 その実施率は平均38・5%、茨城県では21年度36市町村、全体の37・1%の小学校で実施されている。地域の方々との交流活動、スポーツや文化の体験活動、授業の予習復習などが行われ、学校の授業だけでは教えられないことを学べる貴重な場。早急に検討してほしい。

放課後子どもプランにおける補助金は、国、県、市町村がそれぞれ3分の1を負担する。活動の材料費と保険料は、保護者から徴収している。市の予算としてはそれほどからず、地域の子供たち、住民の方々に得るものは大きい。県北ではまだあまり進んでいないので、高萩市でいち早く取り入れていただきたい。

教育長 高萩市放課後児童対策検討委員会が検討したところ、指導員などの人材不足と財源不足の課題があるので放課後児童クラブの対象年齢拡大をし、将来的に全児童を対象とした施策を講じることとなった。

八木陽子 議員

新型インフルエンザについて

質問 私は、9月の議会で新型インフルエンザ予防接種の助成についてお願いいたしました。早速実行していただき、市民の負担が軽減され大変助かっております。

高萩市でも新型インフルエンザの発症者が多く、学級閉鎖や通園を見合わせていると聞いておりますが、発症状況をお聞かせください。

市民生活部長 高萩市の感染状況は、12月4日までで、園児から高校生までの感染者数は累計947人となっております。成人の感染者数については把握しておりません。なお、感染者の中で重症の方はおりません。接種スケジュールについては、1歳未満児の保護者は12月14日から、小学生の高学年は12月14日、中学生は1月1日から変更になっております。助成状況については、高萩市はすべての方に半額の助成をしており、北茨城市、日立市に比べて助成に厚みを加えている状況です。

質問 947人の方が発症しているとのこと、現在小中学校では、学級閉鎖が4学級になっているようですが、茨城県にインフルエンザ警報が出ている状況がうなずけます。茨城県では、重症化して死亡する状況を回避するため1歳から就学前まで

のワクチン接種を12日から開始しています。三種混合ワクチンの接種を実施している医療機関、特に小児科を中心に配付され、ワクチンが届き次第予約予防接種を開始している状況ですが、予約を取るために大変苦労している方が多くいるのではないのでしょうか。混雑を避ける上でも集団接種ができればと思います。接種日がわかれば仕事の都合がつけやすく、子供の体調も気づかい、予防接種に向けた確な対応ができますので、集団接種の検討をお願いします。

市民生活部長 新型インフルエンザワクチンの購入は、国との契約を締結した医療機関が行うこととされており、多賀医師会、高萩地区医師会との協議をしております。

質問 各医師会と相談しているとのことですが、ワクチンは一度封を切ると24時間内に使い切らなければ残っているのも廃棄処分をするというもっていない話です。今ワクチンは不足しているとのこと、1人でも多くの方がスムーズに接種できるよう、また個人で病院へ行けば他の感染症が移ることもあります。それを避けるためにも是非集団接種の話を進めていただけないよう要望いたします。東京都や桜川市では、医師会と協力し集団接種を行っているということですが、ワクチン購入の問題があるとは思いますが、前向きに検討していただけでしょうか。

大足光司 議員

消防団の現状と体制について

質問 消防団員は該当する年齢になれば入団でき、地域の安全を守る責任を全うし、後輩に託し退団していく。地域の消防団はそんな流れの中で維持されてきた。しかし、近年の消防団を取り巻く環境は大きく変化してきており、全国的にも団員の確保が大きな課題となっている。

これらの原因は社会状況や住民意識の変化などあると思うが、地域における消防・防災の中核的存在としての役割は変わることなくこれからも活動を維持して行かなくてはならない組織である。

消防団の定数と実際の定数について、今年度の数と5年前の数をお聞きたい。

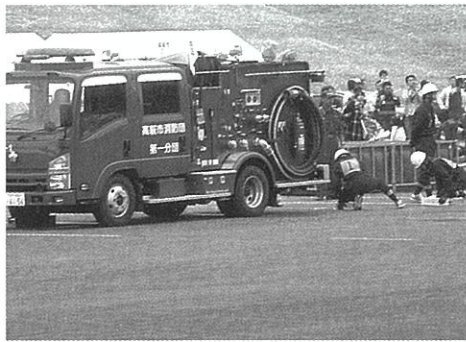
消防長 高萩市消防団の定数は「高萩市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例」第2条で350人と定められている。実数については、5年前が334人、現在は327人で、いずれも4月1日現在の員数で、減少傾向にある。

質問 団員数が定員割れしている現状が続いているが、市として何らかの対応を取っているのか。また、定員数の見直しを行っている場合は、その内容もお聞きたい。

消防長 地域の安全・安心を守るた

めには、消防団員の確保が必要不可欠であり、幹部会議や各方面隊を中心に広報・勧誘に努めているところである。現在は、平成22年度当初に定員14名で発足予定の女性消防団員を市報、消防団便り等で広報し、団員確保に努めている。各分団の定員の見直しについては、今後も適正な定員の配置に引き続き努めて参る。

質問 消防団活動も大規模災害へ大きくシフトしてきていると考える。団員一人一人の安全も考えていただきたい。消防団員の防寒着やレインジャケット等、装備的な手配について要望をさせていただく。



その他の質問事項

- ① 市政運営に携わってきた4年間の総括について。
- ② 自然を生かしたまちづくりについて。
- ③ 魅力ある市街地づくりについて。

議案質疑

第5回臨時会に提案された議案に対して次の質疑がされました。

議案第72号 高萩市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

寺岡七郎 議員

民間との格差をなくする為の人事院勧告であります。国家公務員のラス100として民間はいくら。高萩市の実態は。

総務部長 国の現在の公務員給与は平均しますと39万1770円。民間は39万907円でその格差は863円でございます。高萩市の実態は34万6738円となっております。民間給与と高萩市の場合4万4169円でございます。

質問 民間との格差是正が人事院勧告だとするならば、今回の場合、人事院勧告通りに実施すれば、更に格差が広まってしまうのではないか。

第4回定例会に提案された議案に対して次の質疑がされました。

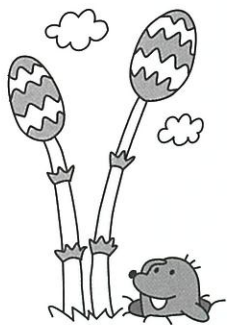
議案第79号 平成21年度高萩市一般会計補正予算(第7号)

吉川道隆 議員

今回の債務負担で、協同病院において、医師を確保するため、平成22年度から5年間、総額で9000万円、どうして高萩市がこんなに出さなければいけないのか？

全体的にみて、厚生連の県内の病院経営は赤字なのだから、それでいいのでは？今まで公的病院ということで、建設費5億円、土地代約11億2000万円、5年間にわたる運営費の補助で8000万円も出した。合計約17億円にもなる。新しく建て軌道に乗るまで補助したのだから、あとは病院側で努力するのが当たり前。出す必要があるのか？市長は、「市民は納得してくれる」と言っていたが、今、非常に大変な状況で、みんなが協力して我慢しているのに、黒字団体の厚生連に対して、出すことに対して、納得してくれるのか？

市長 医師確保のために行政が果たすべき役割だと思っている。医師がこなれば出さないので、安心感を得るためなら納得してもらええると思っている。経営自体は厚生連だから、市の政策意思が貫徹できないのは理解していただきたい。



質問 一般の企業でも、経営が苦しいなら、企業努力で人員削減、経費節減などにより立て直しを図るもの。高萩協同病院において、企業努力はしたのか？ ほかの市町村で行政から、医師を確保したから補助を出しているというようなところはありますか？

市民生活部長 運営費の補助と今回の助成措置は性質的に異なる。MRI等の機器の導入のために補助を出しているところはある。経営努力について市としては把握できない。

田所和雄 議員

都市計画費のうち駅前駐輪場整備事業の事業内容、工事日程、使用料について。教育費のうち高萩中学校体育館改築事業の事業採択までの経過、事業内容、財源について。債務負担行為補正説明のうち県北医療センター・高萩協同病院運営費補助について。以上3点について質問します。

建設経済部長 中央跨線人道橋改修事業に伴って、仮設駐輪場を設置しているのが現状です。駅前広場などの良好な環境を確保し、通勤通学等の自転車利用者の利便性を推進するため、1800万円強の予算で再整備します。駅西側、駅東側合わせて約400台分で年度内完成を目途にしています。

総務部長 使用料は無料の予定です。教育次長 現在の体育館は建築後42

年が経過し、柱脚部分の腐食等老朽化し、耐震診断では震度6強以上で倒壊する危険性が高いとされました。

今回、国の経済危機対策による交付金等があり、市の財政負担が小さくなる見通しが立ったので実施します。体育館の面積、設備等については、市民の皆様の要望を反映させています。

市民生活部長 高萩協同病院は、急性期医療を主体とする総合病院として安定した医療サービスの提供に努めています。現状は医師の確保が難しく、患者数も増えていません。今後安定した急性期医療を持続するため、新たな常勤医師が確保できた場合に限り、1年2000万円を限度に運営費補助を行い、病院の充実に努めるものです。

寺岡七郎 議員

協同病院は人口7万人を想定して建設されたもので高萩だけの人口を考えると2分の1である。1人の医師の確保のために2000万円補助が必要だとすれば、2分の1ではないか。区域外の患者まで高萩の税金で見ることになる。貴重な財源を市民が納得できる使い方をすべき。

市民生活部長 移転改築にかかる建設費補助は2分の1の負担割合で算出している。今回医師確保に伴う地域医療の安定は高萩市が最も影響を受けると判断して人口割、均等割は

考慮しなかった。

今川敏宏 議員

地方債補正の中で市道舗装改修事業5340万円について、詳しく説明されたい。

総務部長 市道舗装改修工事に、交付税措置のある地方債を起せることになったので、財源を振り替えるものである。これにより、市道舗装改修事業の一般財源1153万円を圧縮するとともに、高萩中学校体育館改築事業の財源に振り替えた。

平 正三 議員

駅前駐輪場整備事業について、具体的な計画内容と駐輪場の管理体制をどのようにしていくのか伺いたい。

建設経済部長 駅西側は、JR東日本所有地を公租公課程度で借地し300台、はばたき公園内に50台整備する計画である。駅東側は、駅東ハーモニーパーク駐輪場を新たに再整備し50台計画している。両側の駐輪場とも屋根式駐輪場とし、駅西駐輪場は自転車ラック方式300台を採用する。工事完成は年度内を目途に考えている。管理運営については、現在協議中である。

菊地正芳 議員

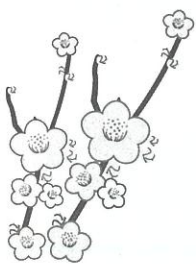
債務負担行為補正について支出する理由は医師確保であるという事ですが、よく分からない、補助金を高萩市が出さなければならぬ、法的根拠を伺う。

債務負担行為は限度額を設定するものであると理解しているが、この限度額の積算方法について伺う。

協同病院には今までも、運営費補助金として既に8000万円もの市民の血税を投入している。この時もいろいろ制約があったにも関わらず、それが守られなくても運営費は支払われていました。そう言う事を考えると協定書とはいったい何だったのかなくとも思います。今回は、強制力のある文書を取り交わすのか伺う。

民間病院に対し、5年間で9000万円という莫大な市民の血税を投入すると言うことである。先ほどの「市長」の答弁では、18年度から続けている「運営費補助」の8000万円は何処に使われているか分からないと言う事であるが、あまりにも無責任な支出であり、発言と言わざるを得ません。使い道の情報公開はきちんとするべきであり、そうでなければ市民の理解は得られないと思うが伺う。

地域医療の問題は国家的問題である。今回、民主党政権になり「地域医療再生事業費の一部凍結、削減」が行われた。これは救急医療の確保



や地域の医師確保などといった地域医療の問題解決の為のものであるはず。これが、いま凍結、削減といった事になっている、この事を踏まえ、国に対して「交付金の申請」をするつもりはあるのかとう。

中井信行 議員

福祉センター、文化会館の委託債務負担行為について、今まで単年度契約でしたが、変更されます。

市民生活部長 毎年同じ様な業務なので、複数年度契約することで安定性や事務手続の効率性を確保するため提案します。

質問 民間保育所低年齢児保育体制緊急整備事業費106万5千円について

市民生活部長 3歳未満児の低年齢児の十分な民間保育の質を確保するため、平成22年度から3年間の実施計画の委託料です。松ヶ丘保育園、あおぞら保育園で実施します。

質問 各種扶助費が約5000万円補正増されます。

市民生活部長 雇用情勢の悪化、景気後退の影響で生活保護率が高まっています。平成21年度4月期の保護世帯数は218世帯、保護人員275人、保護率0・87%でしたが、直近の10月期には、230世帯、305人、0・97%と上昇していて保護率は県内4番目です。

質問 中山間地整備事業負担金45

5万円について

建設経済部長 赤浜地区で進めている圃場整備の負担金です。圃場22ha、農道、ため池3か所、揚水機場2か所、JR横断排水路などの整備負担です。県土地改良事務所が主体で事業を進めています。

質問 高萩中学校体育館の入札について

教育次長 15社の入札で㈱所建設設計事務所が1715万円で落札しました。

八木陽子 議員

駅前駐輪場整備について

一つ目、財源の内容について、二つ目、メンテナンスを含めたランニングコストについて、三つ目放置自転車対策について、四つ目、以前は夜の明かりが大変暗く女性は怖かったと聞いておりますが照明は大丈夫か伺います。

建設経済部長 一つ目の財源について、駅前駐輪場整備事業として441万4000円を予定しております。

三つ目の放置自転車の対策は、駅周辺の放置自転車につきましては、月3回から4回程度パトロールを行い、放置されている自転車は駐輪禁止シールを貼り、3か月経過した後遺失物法に基づき回収廃棄処分を行います。二つ目、四つ目のランニングコスト、照明については、今設計をしておりますので詳細については今

後精査検討してまいります。

質問 放置自転車について、法律上許されるのであれば、まだ乗れる自転車を安く提供するようなシステムの導入はできないのでしょうか。

建設経済部長 放置自転車リサイクル販売を行う制度は、安全性を確認した物を3000円から9000円位の価格で草加市や厚木市などで導入しているようです。高萩市では自転車の損傷状態が進んでおり、整備点検に多くの費用がかかり採算が合わず、また専門整備士の不足や育成などの課題が多くあり、現実的に厳しい状況です。

決議案第2号 金沢典胤議員に対する辞職勧告決議の提出について

寺岡七郎 議員

今、金沢議員は法律的に問われており、刑が確定するまでは原則無罪が法の趣旨です。第一審は実刑判決が出た。しかしそれを不服として上告、上告されたときは刑が中断されたのではなく、改めて判断されるということであり事の真実は全く知らない。従って法の結果を待つ以外ないのではないか。

大森要二 議員

地裁で懲役1年4か月、執行猶予なしの実刑判決を言い渡された。これに不服として上告したものと私は考えております。

討論

質問 無罪を主張して公判中の人に道義的責任を感じろということか。

大森要二 議員 証拠物件を持って実刑が出たものと確信いたします。それを無罪と主張して上告したことに対して私は全く納得できません。

質問 私は裁判の記録を1回目から全部目を通して。証拠物件は何もないというのが実態。お互いの言い分が真向から違うだけである。証拠物件とは何を指しているのか。

大森要二 議員 証拠物件は私は伝えることは出来ません。

第5回臨時会に提案された議案に対して次の討論がされました。

議案第72号 高萩市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

賛成 討論

大足光司 議員

給与勧告の制度は労働基本権制約の代償措置の一つであり、本来ならば職員の給与は地方公務員法に定める情勢適応の原則や、均衡の原則等の給与決定の諸原則により決定されるべきものであると思う。人事院の条例措置については公務員と民間給与との格差を解消するためであり、



月例級の引き下げ、期末勤勉手当の引き下げ、自宅手当の廃止、その改定を行う必要があると判断されたものであり、この改定に当たっては期末勤勉手当の引下げを行うとともに、自宅に係る手当を廃止する事である。職員の給与は、地方公務員法に定める給与決定の諸原則により決定されるべきものであるが、高萩市の厳しい財政状況事情の元でこうした措置の議案を採決することは私としては非常に辛いものである。市職員が職務に対する意欲を保持しつつ、安心して職務に専念できる環境の整備を図ることや職員に多彩で優秀な人材を確保する観点からも適切な処遇が必要であると考え。今回の条例改正において、私は賛成をするが、現在の減額措置等による職員の給与水準は県内の給与水準を下回っていることから市当局においては事情を深く考慮し、この減額措置ができるだけ早期に解消され、あるべき職員の給与水準がいち早く確保されるよう努力を強く望む。

第4回定例会に提案された議案に対して次の討論がされました。

議案第79号 平成21年度高萩市一般会計補正予算（第7号）

反対 討論

吉川道隆 議員

今回の補正予算のなかには、高萩中学校体育館改築事業、災害対策用備品購入費・民間保育所低年齢保育体制緊急整備事業などがあり、これらの事業に関してはすべて賛成だが、協同病院に補助金を出すことに関してはどうしても納得できない。

医師を確保するためとはいえ、全体では大幅な黒字である厚生連に最大で9000万円も出すなんて、考えられない。企業も黒字部門と赤字部門とあってバランスをとってやっている。今まで土地代、建設補助、運営の補助、合計約17億円も出した。さらに医師確保のため？そんなに出不必要はない。議案質疑での答弁では、運営資金と医師確保の必要経費は違うから、と言われたが、最終的に出るところは同じ、何とかやりくりするのが本当ではないか。

また、市民病院のといっても救急で病院に搬送される場合、協同病院に搬送される件数は、20年度は45・4%、21年度は11月末日までで57%と半数程度。残りの多くは日立総合病院に搬送されている。

せっかく、病院を構えていたんだから、市内の薬局を敵に回すようなことをせずに、市内の交通事情を理解して、患者となる人の年齢層や状況を考えていただければ、相互理解のもと、もっとお互いに向まくやっていけると思う。高萩市の今の状況では、病院の補助ばかり出したくても出せない、思いやりの気持ちをもって、歩み寄りをしていただきたい。

議案第81号 高萩市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

賛成 討論

今川敏宏 議員

地方公務員法第14条では、「地方公共団体は、この法律に基いて定められた給与、勤務時間その他の勤務条件が社会一般の情勢に適応するように、随時、適当な措置を講じなければならぬ。」とされています。

よく言われるラスパイレース指数は、国家公務員との比較であって、地域情勢と職員給与とのバランスにおいて左右するものではなく、参考にするにはあっても、給与決定の直接要因となるものではありません。今回の条例制定はあくまで人事院勧告等に伴う内容です。職員給与に関して、その増減に関わる意見を言うのであれば、高萩市の情勢を判断する部

分において意見するのが良識的考え方ではないでしょうか。

日本国憲法第15条第2項に、すべて公務員は、全体の奉仕者であって、一部の奉仕者ではない、とあります。公務員である市の職員の皆さんは、市の財政健全化にも理解され、この憲法の精神において、職員お一人お一人が市民の奉仕者としてがんばろうと決意する崇高なる思いを心から讃えたい、最大限敬意を表する形として賛成するものであります。以上私の賛成討論といたします。

議案第82号 平成21年度高萩市一般会計補正予算（第8号）

反対 討論

寺岡七郎 議員

市長は、従来日立市に頼んでいたごみ処理を議会に何ら相談することなく一方的に断った責任は極めて重大である。断った理由は民間より日立市が高いからと言っている。平成19年度、従来は民間のサンエコーに頼んでいたものをわずか半年で日立市に変える時に、市長は民間が安くても行政の方が安定安心であると言ってサンエコーを断った経過がある。その時のサンエコーの見積りはトン当たり2万5000円、日立市は2万7029円である。草間市長は2期目を目指すマニフェストの中でごみ処理は広域で行うと言っている。

これは全く矛盾する考え方である。トン当たり2万5000円で民間に頼むのが正しいとすれば、今後広域行政で行うとすれば最低でもトン当たり5万円は下らないと思う。それを政策に掲げるのは説明がつかない。

第一に民間に頼むにしても5年間の長い、しかも市長は2期目当選したとしても4年間はすべて民間委託。これは事実上ごみ処理は高萩にはないことになる。

第二に民間に出すにしても県内では、事実上ごみ処理している企業は1社しかない。これでは特定企業の独占になる。安さを追求するなら県内外を入札の対象にすべきである。

第三に高萩の場合、民間委託であっても1社委託である。民間といえども安心安全のために2社以上委託するのが望ましい。行政の場合ごみ処理するには安心安全のために煙突は2本以上作る。民間は採算性が追求されるため大概の所は1本である。

反対 討論

平 正三 議員

可燃ごみ処理の広域化方針は、広域化の相手先が決まっていけない不透明なものであり、可燃ごみ処理を開する方針とはとても言えるものではない。ただ、問題解決を先送りする口実に過ぎない。

こうした状況の中で、可燃ごみ処理を民間業者に5年間という長期に

わたる委託化は、市民生活を常に不安定化に置くものである。民間業者は、いつ倒産という不測の事態に陥るかかわらず、まして今日の経済状況では、なお一層、その懸念がもたれている。家庭からのごみは毎日発生するものであり、一日も滞ることは許されません。

市長は、「自分の出したごみは自分で処理するのが原則であり、市民生活の安心・安全から安ければいいとは思わない」として、家庭系ごみ処理を民間業者にまかせることを拒否してきました。しかし、民間業者のほうが安いからと言って、議会へ一言も相談なく、市長独断で日立市への委託を断り、長期の民間業者への委託を行うことは、到底、納得できないものである。

市民生活の安心・安全を図る上で、今後も日立市に委託すべきであり、民間業者への委託は、あくまでも短期的、臨時的な委託にすべきであると考えます。

可燃ごみ処理を5年間という長期の民間業者への委託化は行政が負っているごみ処理の責任を放棄するものである。

自前のごみ処理施設建設で、高萩市の長年の懸案であるごみ処理問題解決を図るべきである。



決議案第3号 議会を無視したごみ処理方針変更と、ごみ処理を5年間民間に委託する長期債務負担行為に反対する決議の提出について

賛成 討論

作山里美 議員

中井議員の提案された高萩市の可燃ごみを民間業者へ5年間長期委託することに反対する決議案について、賛成の立場から討論を行います。

この決議案を読ませていただきましたが、さすが中井議員の潔癖な政治理念が見事に写し出されていることに感動いたしました。基本的に草間市政は非常に非民主的な独善的な政治を進めようとしていることです。まことに危険な事態に陥っている現状です。つまり当市のごみ処理委託を平成14年から約7年間日立市にお世話になっていたのに、突然来年4月1日からひたちなか市の民間業者を特定し、5年間長期委託契約を結ぶということ、お世話になっていた日立市を断ってしまった。これらの行為について市長は執行権の範囲と決めつけ、議会に事前の相談が全くなかったということです。このような状況の中で提案された案件を議会は軽々に議決できないと私は考えます。ごみ処理は当市の重要政策です。一日たりともおろそかにすることはできません。まず求められるこ

とはいかにして安全安心に処理委託できるかということです。当市では過去に日本加工製紙が突然倒産した経過があります。委託費が多少高くても安全安心の日立市への委託を継続すべきです。今後やむを得ず民間業者を選ばせざるを得ないときは安全安心の担保が必要です。また、ひたちなか市の民間業者1社ではなく、広く県外業者も含めて委託先の検討を行うべきです。

一般質問、議案質疑、
討論及び応答の記事は、
質問者自身が要約した
ものです。

第4回臨時会 議案等審議結果

番 号	件 名	結 果
報告第10号	専決処分の承認を求めることについて（平成21年度高萩市一般会計補正予算（第5号））	原案承認
議案第68号	平成21年度高萩市一般会計補正予算第（6号）	原案可決
議案第69号	平成21年度高萩市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第70号	平成21年度高萩市水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第71号	平成21年度高萩市工業用水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決

第5回臨時会 議案等審議結果

番 号	件 名	結 果
議案第72号	高萩市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案否決

第4回定例会 議案等審議結果

番 号	件 名	結 果
議案第73号	人権擁護委員の候補者の推薦について	原案同意
議案第74号	人権擁護委員の候補者の推薦について	原案同意
議案第81号	高萩市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案否決
議案第75号	高萩市職員の旅費に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第76号	高萩市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第77号	高萩市道路線の認定について	原案可決
議案第78号	高萩市道路線の変更について	原案可決
議案第79号	平成21年度高萩市一般会計補正予算（第7号）	原案可決
議案第80号	平成21年度高萩市工業用水道事業会計補正予算（第3号）	原案可決
決議案第2号	金沢典胤議員に対する辞職勧告決議の提出について	原案決議
議案第82号	平成21年度高萩市一般会計補正予算（第8号）	原案否決
意見書第9号	電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等を求める意見書の提出について	原案決議
決議案第3号	議会を無視したごみ処理方針変更と、ごみ処理を5年間民間に委託する長期債務負担行為に反対する決議の提出について	原案決議

請願・陳情の審議結果

件 名	結 果
県北臨海地区に中高一貫校の創設を求める請願	継続審査

陳情の書式例

〇〇〇に関する陳情

陳情者
住所氏名

連名のときは末尾に署名簿を添え、ここには代表者を記載し、ほか何名とする。

趣旨

平成 年 月 日
高萩市議会議長 〇〇〇〇〇〇あて

○道路・河川・側溝など場所に関するものについては、請願（陳情）箇所が分かるように、案内図や略図等をつけてください。

○件名・内容、提出年月日、提出者の住所・氏名を記載し、押印（拇印不可）のうえ提出してください。

○郵送により提出された陳情は審議されません。

請願の書式例

〇〇〇に関する請願

紹介議員氏名
請願者住所氏名

連名のときは末尾に署名簿を添え、ここには代表者を記載し、ほか何名とする。

趣旨

平成 年 月 日
高萩市議会議長 〇〇〇〇〇〇あて

○請願には、紹介議員が1人以上必要となります。紹介議員の署名又は記名押印を受けてください。（紹介議員がいない場合は、陳情書としてください。）

○請願（陳情）は、いつでも受け付けますが、各定例会（3月、6月、9月、12月）の開会3日前までに提出されたものについて、当該定例会で審議します。

○議会への請願（陳情）することのできる事項は、市の行政に関するもの、国や県の施策などを要望しようとするもので、だれでも請願（陳情）することができます。

議会へ請願（陳情）される方へ

傍聴においでください

本会議は一般に公開され、気軽に傍聴ができます。議員の活動や施政の方針・経過など実際に見聞きしてはいかがでしょうか。本会議の当日、市役所玄関受付で住所・氏名を書いていただき、傍聴券を受け取り、係員の指示に従って傍聴してください。

各委員会は、委員長の許可により傍聴できます。

傍聴席の数は、本会議が40席、各委員会が10席程度です。

次回の定例会は3月です

平成22年第1回高萩市議会定例会は、次のとおり開催される予定です。

3月5日（金）本会議 議案上程	3月15日（月）文教厚生委員会
3月8日（月）本会議 一般質問	3月16日（火）総務委員会
3月9日（火）本会議 一般質問	3月18日（木）本会議 採決
3月11日（木）本会議 議案質疑	
3月12日（金）建設経済委員会	

日程等が変更になることがあります。詳しいことは、議会事務局までお問い合わせください。

議会だより
編集特別委員会

委員長 鈴木英樹
副委員長 菊地正芳
委員 大田吉舟、大森所川、大森和道、大森雄二

議員の任期は1期4年これが長いのか？短いのか？と言われれば、私は市民の立場に立って、どれだけ市民の代弁者になれるか？要望を形に出来るか？それを成し遂げるには、あまりにも時間が足りないと感じている。

それは何故か？今はこうして、議員という立場で、市民の代弁者と言う立場で、議会壇上に立つ事が出来ているが、次期またこの場に立てる保証が無いからだ。

だからこそ私は、毎回の議会に於いて、『報恩感謝の思いを込め』自身の使命を全うして行こうと思っている。

多くの市民と約束をし、支持を頂き当選させてもらった以上、自分自身の都合で質問をしたり、しなかったりするようであれば、それは市民に対しての裏切り行為であると常々、自分自身に言い聞かせているのもそのためだ。

（菊地正芳 記）

編集後記